

周術期の直腸がんに対するミスマッチ修復機能検査の実施と対象患者さんの治験への紹介のお願い

ミスマッチ修復機能検査

主に「MSI検査（PCR）」と「免疫染色」による2つ測定法があります。手術前後でも保険診療での実施が可能で、**2,100点が請求可能**です。

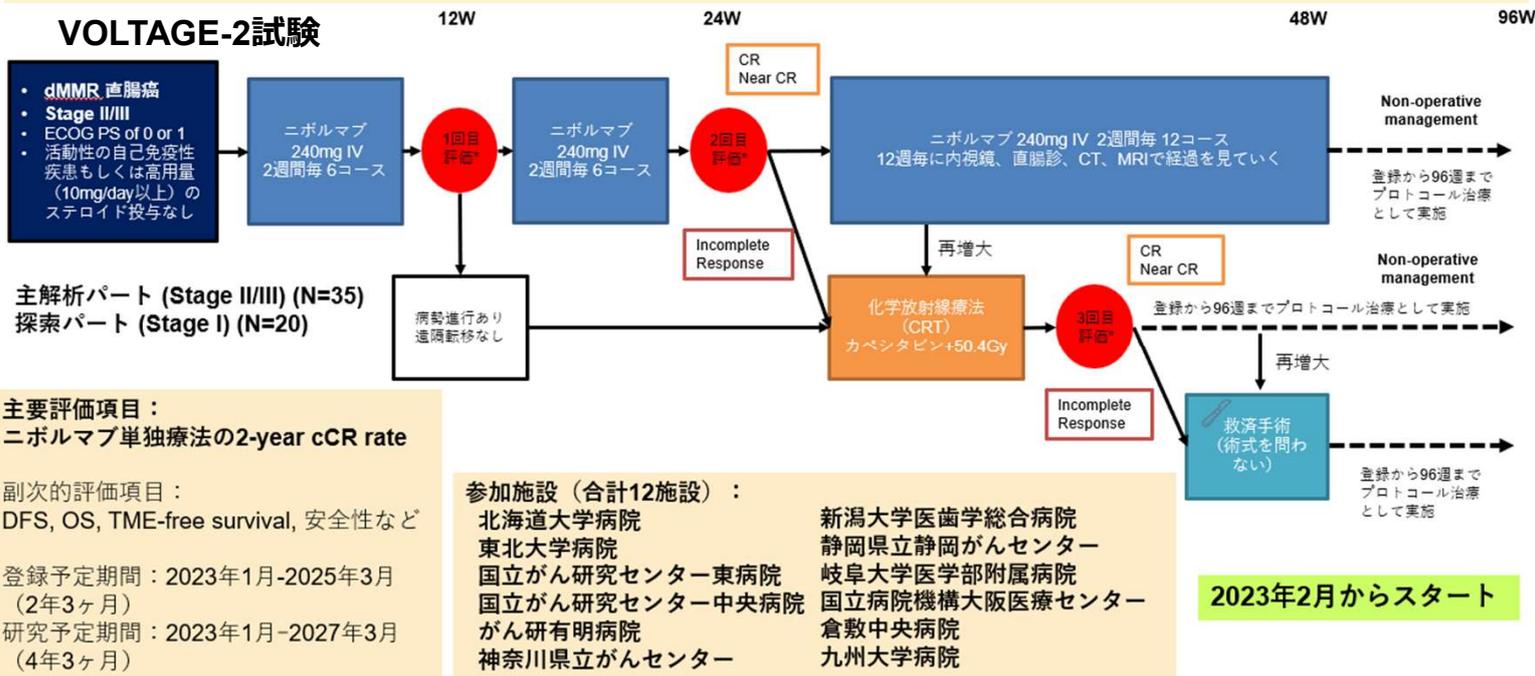
これまで手術前後に、「リンチ症候群の診断の補助」「大腸癌における化学療法の実施の補助」を目的に検査が行われてきましたが、**現在治験が実施されています**。陽性の患者さんには直接治療に繋がる有望な治療選択がありますので、是非**手術を実施する前に**幅広い検査を実施をお願いいたします。

ミスマッチ修復機能検査陽性の患者さんを対象とした治験

ミスマッチ修復機能検査で陽性となった患者さんには、**免疫チェックポイント阻害薬を用いて、手術をしないでがんを治す試験**が選択肢になります。米国で行われた試験で、12人の検査陽性患者さんに免疫チェックポイント阻害薬であるドスタリマブを投与し、**全症例でがんが消失し、その後1例も再増大が見られなかった結果が報告されています**（Cercek A, et al. NEJM 2022.）。すでに米国のNCCNガイドラインでも推奨されており、**事実上の標準治療**と見なされています。

我が国でも、**ニボルマブを用いた治験（VOLTAGE-2試験）**の登録が始まっています。

VOLTAGE-2試験



本試験の参加施設は、「北海道大学病院」「東北大学病院」「国立がん研究センター東病院」「国立がん研究センター中央病院」「がん研有明病院」「神奈川県立がんセンター」「新潟大学医歯学総合病院」「静岡県立静岡がんセンター」「岐阜大学医学部附属病院」「国立病院機構大阪医療センター」「倉敷中央病院」「九州大学病院」の12施設です。対象の患者さんがいらっしゃいましたら、是非ご紹介をお願いいたします。

ミスマッチ修復機能検査陽性直腸癌に対して承認を取得し、患者さんに薬を届けたいと考えております。ご協力のほどよろしく申し上げます。

問い合わせ先：国立がん研究センター東病院 消化管内科：坂東英明・大腸外科：塚田祐一郎
メールアドレス：voltage-2_core@east.ncc.go.jp